

社会福祉基礎

総合学科

教科	福祉	単位数	2単位	対象	1年次	選択群	
使用教科書	社会福祉基礎 (実教出版)			副教材等	社会福祉基礎学習ノート (実教出版)		履修 必履修・ <b>選択</b>
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
<p>高齢者や障害を有する人々の尊厳の保持と自立とは何かについて考え、認識を深めていきます。さらに尊厳の保持や自立支援を介護福祉士が生活支援の場ではどのようにとらえ、実践していけば良いのかを事例を通して学びます。また、その際必要とされるコミュニケーションについての知識と技術や職業人に求められる倫理観についても学習します。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉に関する基礎的な知識と技術を習得し、社会福祉全体についての理解を深める。</li> <li>現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解を深め、社会福祉の基本的な見方や考え方を身に付ける。</li> <li>人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>介護福祉士国家試験受験資格取得のためには必ず履修してください。</li> </ul>	
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容			
	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	9月	第1編 社会福祉の 理念と意義 第3編 生活を支える 社会福祉・ 社会保障制度	第1章 生活と福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化と人口減少社会の到来</li> <li>・日本国憲法と社会福祉</li> <li>・人間としての尊厳</li> <li>・社会保障制度の意義と役割</li> <li>・人口の高齢化と高齢者福祉</li> <li>・介護保険制度</li> <li>・認知症ケア</li> <li>・地域社会の変化</li> <li>・社会福祉を支える諸原理</li> <li>・自立生活支援</li> <li>・社会福祉と社会保障制度</li> <li>・高齢者の在宅サービス</li> <li>・介護保険施設・老人福祉施設・その他</li> </ul>			
	10月		第2章 社会福祉の理念				
	11月		第3章 人間の尊厳と福祉社会の創造				
	12月		第4章 高齢者福祉				
	1月	第3編 生活を支える 社会福祉・ 社会保障制度	第4章 高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の地域生活を支える各種サービス</li> <li>・高齢者福祉の将来・障害者福祉とは</li> <li>・身体障害者の現状と課題</li> <li>・身体障害者福祉の推進</li> <li>・障害者の自立支援</li> <li>・知的障害者の現状と課題</li> <li>・障害者グループホーム・ケアホーム</li> <li>・発達障害をめぐる多様な課題と支援</li> <li>・精神障害者の支援</li> </ul>			
	2月		第3章 障害者福祉				
	3月						
	学習方法	<p>【予習】 教科書をよく読んで理解しましょう。分からない専門用語については、事前に調べておきましょう。</p> <p>【授業】 説明をよく聞き、板書以外にもポイントとなることはメモをとっておきましょう。</p> <p>【復習】 学習した福祉課題に対して、自分の考えをまとめる課題が頻繁に出されるので、きちんと提出しましょう。また新聞やTVニュース等による最新の福祉情報も素早く入手できるようにしておきましょう。</p>					
評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに社会福祉の意義や役割について理解している。</li> <li>・福祉に関する諸活動に対応することを目指して、様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会構造や日常生活から起こる社会福祉に関する諸問題の解決を目指し、考えを深め、基礎的な知識と技術を基に、介護に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉の見方・考え方を働かせ、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</li> </ul>		
	評価方法		第1・2学期		第3学期		年度末
<p>※ 上記の観点を基に、2・3学期とも評価する。</p> <p>A：主に考査による観点別評価</p> <p>B：主に授業等の活動による観点別評価</p>				<p>A：6割 B：4割</p> <p>Bは、授業態度、課題の取組状況、ボランティア等福祉活動の取組状況等</p>		3学期の成績を基に総合的に評価します。	
備考	10月から7限目に補習を行います。11月から数Aに代わり、当科目の授業を行います。						

介護実習

総合学科

教 科	福 祉	単位数	1 単位	対象	1 年次	選択群	
使用教科書	最新・介護福祉士養成講座10 (中央法規)			副教材等		履修	必履修・ <b>選択</b>
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路	
社会福祉の施設等における介護実習を通して、高齢者や障害者への個別ケアを理解します。介護技術の実践を通して、介護に関する基礎的な知識と技術、態度を身に付ける科目です。			・介護実習の意義・心得を理解した上で実習に臨む。 ・施設の概要や介護福祉士の役割等をふまえた上で、基本的な知識や技術の定着を図る。 ・自らの課題を発見し、2年次の介護実習につなげる。			・介護福祉士国家試験受験資格取得のためには必ず履修してください。 ・福祉サービス系列選択者のみ履修可能です。	
学 習 の 年 間 計 画	月	単元名	項 目	学 習 内 容			
	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	9月	・介護実習	1 コミュニケーションの実践 2 介護技術の実践 3 多職種協働及びチームケアの理解	・生活の場における個別ケアの理解 ・利用者・家族とのコミュニケーションの実践 ・介護技術の確認 ・多職種協働や関係機関との連携 ・チームの一員としての介護福祉士の役割の理解 ・記録の意味・記録の種類と書き方・記録の活用と秘密保持			
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
学習方法	【予習】 「介護実習オリエンテーション資料」をよく読みましょう。また、技術面の復習をしっかりと行いましょう。 【実習】 介護専門職としての自覚をもって取り組むとともに、礼儀・規律を重んじて謙虚な気持ちで学びましょう。疑問点はその日のうちに解決しましょう。 【復習】 実習日誌は毎日、現場実習指導者に提出しますので、きちんと整理しておきましょう。						
評 価 の 観 点 ・ 評 価 規 準 ・ 評 価 方 法	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	・介護専門職としてふさわしい態度や資質を理解している。 ・介護専門職としての基本的な知識や技術について情報を収集し適切に選択して活用している。		・対象者に応じて科学的根拠に基づき、介護技術やコミュニケーション方法などを考えることができる。 ・介護専門職として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。		・介護専門職としての自覚をもち、主体的・協働的に実習に取り組んでいる。 ・介護を行う上での基本的な考え方や介護を適切に行う態度を身に付けている。		
	評価方法	第1・2学期	第3学期	年度末			
※	上記の観点を基に、実習において評価する。		実習日誌（日誌・自己評価・実習報告）、実習先の評価、介護実習の取組状況などから、総合的に評価します。	3学期の実習の評価を基に総合的に評価します。			
備考	福祉サービス系列選択者は12月に4日程度、介護実習を行います。						